

平成 25 年 2 月 18 日

軽トラ PHEV 「セーフガード EV」 発表

この度、独自に開発した「セーフガード EV」の試作車が完成したので、下記の通り車両概要を発表します。

記

1. セーフガードEV概要

本製品は、**社会問題化しているガソリンスタンド過疎地で**、日常的な近距離用途はピュアEVで走行し、電欠時でも安心してエンジン走行に切り替えて、長距離走行を継続できる実用に足るEVです。**軽トラ初のプラグインハイブリット車 PHEV**です。

主たる燃料補給は、自宅での深夜電力の普通充電です。(昼間の約 1 / 3 の価格水準)

これにより、ガソリンスタンドに出向く回数が大幅に減り、利便性のみならず、燃料費節約、電池寿命長期化、CO2削減等、他方式にはない大きな利点を創出します。なお、防災仕様では、搭載エンジンでの発電や交流 100V の取り出しも可能の予定です。

当面、改造ベース車両は、軽トラック(フロント Eng)の M/T 車とします。



荷台下部の×印の様に見えるのがモーター

1) 試作車概要

- I 車 両： 軽トラック
- II 乗 員： 2名
- III 積 載 量： 350kg (ベース車両からの減量無し)
- IV 電 池： 国産大手メーカー製、リチウムイオン電池
- V モーター： 国産大手メーカー製、交流誘導モーター

2) 改造費用
未定

3) 発売時期
平成 26 年春の予定

4) 製品特徴

I セーフガード(Safe-guard)

電欠でもエンジン走行に切替えて走行を継続できる、安心して使える EV です。
セーフガードとは、安全装置という意味。切替え後 300Km 以上走行可能。

II セービング (Saving)

中山間地の農家の方々が、日常走行の大部分を賄える約 20Km の航続距離を持つ
ピュア EV です。同距離内で使用する限り、深夜電力充電分で走行可能で、燃費水準
が最高です。

III セレクタブル(Selectable)

走行モードの選択が可能で道路状況に応じた最的解を選択できます。